

健危管第363号
令和8年（2026年）6月19日

公益社団法人熊本県医師会長 様

熊本県健康福祉部健康危機管理課長

令和8年度（2026年度）HPVワクチン研修会の開催について（依頼）
日頃から、本県の保健福祉行政の推進に御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、HPVワクチンに関する正しい知識を習得し、県全体のHPVワクチン定期接種率の向上を図ることを目的に、別添実施要領により、下記のとおり研修会を開催します。

つきましては、貴会員への周知に御協力いただきますようお願いいたします。

記

1 日時

令和8年（2026年）8月19日（水）14時00分～16時00分

2 開催方法

オンライン

※研修会終了後アーカイブ配信予定（申込者へ別途案内します）

3 対象者

県内市町村予防接種実務担当者、保健所担当者、県内教育関係者、関係保護者、
県内医療関係者

4 申込み方法

令和8年（2026年）8月12日（水）までに、下記申込フォームから行って
いただきますようお願いいたします。

【申し込みフォーム】

URL：<https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/x4b6/1636530>



5 その他

お申し込まいただいた方へ研修会開催日前日までに、オンライン URL 及び資料をメールにて送付いたします。

【問合せ先】

熊本県健康福祉部健康危機管理課

感染症対策班 担当：東坂、徳永

電話：096-333-2240

E-mail：tosaka-s@pref.kumamoto.lg.jp

令和8年度（2026年）HPVワクチン研修会 実施要領

1 目的

子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占め、主な原因は「ヒトパピローマウイルス（HPV）」というウイルスの感染である。子宮頸がんの予防には、HPVの感染を予防することができるHPVワクチンの接種が効果的である。

しかし、本県の定期接種率は、13.2%（全国35位・令和6年）と低く、一方で、本県の子宮頸がん年齢調整罹患率は、14.8%（全国11位・令和5年）と高い状況となっている。

このため、県内市町村予防接種実務担当者・保健所担当者・県内教育関係者・関係保護者・県内医療関係者向けに、HPVワクチン研修会を実施し、当該対象者が、HPVワクチンの効果・安全性・制度に関する正しい知識を習得することで、本県のHPVワクチンの定期接種率向上を目指す。

2 日時

令和8年（2026年）8月19日（水）14時00分～16時00分

3 場所

熊本県庁 新館3階 健康福祉部会議室

4 開催方法

- (1) オンライン聴講（当日・リアルタイム）
- (2) アーカイブ配信の聴講（後日）

5 対象者

県内市町村予防接種実務担当者、保健所担当者、県内教育関係者、関係保護者（※）、
県内医療関係者

※関係保護者は、定期接種の対象となる小学校6年～高校1年女子の保護者

6 内容（予定）

14:00 開会

14:05～14:15 県内における子宮頸がん罹患率及びHPVワクチン接種率の現状
について（健康危機管理課）

14:15～15:15 <講演>

「HPVワクチンについて」（仮）

講師：フォーシーズンズレディースクリニック

院長 田畑 愛 先生

15:15～15:45 市町村の取り組みについて

15:45～16:00 質疑応答

16:00 閉会